

330-A地区第2回キャビネット会議「議事録」

【2007年11月19日(月) ホテルラングウッド】

I. 開会

大内キャビネット幹事より330-A地区2007～2008年度第2回キャビネット会議の開会宣言が行なわれた。

II. 出席者の紹介

河島賢一副幹事より本日出席の地区役員、複合地区役員の紹介が行なわれた。引き続きキャビネット構成員96名のうち、欠席構成員10名、出席構成員86名であり、構成員の過半数以上の出席者により第1回キャビネット会議が成立したことが報告された。なお構成員以外のメンバーは4名であった。

III-1. 地区ガバナー挨拶

飯田善彦地区ガバナーより挨拶があった。

III-2. 前地区ガバナー・名誉顧問会議長挨拶

森山勇前地区ガバナーより挨拶があった。

IV. 配布資料の説明

近藤正彦副幹事より配布資料の説明があり、大内幹事より追加資料につき説明があった。

V. 第2回キャビネット会議・議長の選出

第2回キャビネット会議の議長は、国際会則付則第6条・第5項(a)に地区ガバナーが議長職務を行うと明記されていること及び複合地区会則第16条の規定の趣旨から飯田ガバナーが議長に就任した。

VI. 議事録署名人の指名

飯田ガバナーより、議事録署名人に第1Rリジョン・チェアパーソン L伊賀則夫、第6R第2Zゾーン・チェアパーソン L鈴木智子が指名された。

VII. 報告事項

一般事項に関しては大内キャビネット幹事より、会計に関しては太田キャビネット会計より報告することが飯田ガバナーより報告された。

1. 330-A地区全般に関する事項

(1)ライオンズの現勢 資料集1 1ページ

157名の増員があった。レオクラブは、国際協会の管轄下にあるクラブ。年齢

によりアルファレオクラブとオメガレオクラブがある。アルファは成人まで、オメガは成人後。ライオネスクラブは、国際協会が関与しないクラブとなっている。1993年以後のクラブ設立は、地区ガバナーの承認によっている旨大内幹事より説明があった。

(2) 各種行事に関する事項

ア. 本年度主要行事

12月22日国際会長公式訪問（22日がイースト(330～333)パレスホテルで、ウエスト(334～337)は23日に開催）。全体で200名、330-Aの動員は28名だが、他の地区の出席が少ない場合が予想されるので、より多くの参加をいただく必要がある旨、大内幹事より説明があった。

イ. 新クラブ結成・チャーターナイト 資料集1-P4

東京中央南LCの結成により、330-A地区のクラブ数は205クラブになった。

ウ. 周年行事 資料集1-P5

エ. クラブ名称変更 資料集1-P5

(3) ガバナー公式訪問の報告

東洋東南アジアフォーラムの日程の関係で、早めに9月3日から10月3日の間に、すべての訪問を終了した旨、飯田ガバナーより報告。

(4) 新潟県中越沖地震の義援金及び募金について 資料集1-P7

11月5日にガバナーと緊急対策委員長他が、新潟に行き333-A加藤ガバナーに寄贈した。プレハブの休息室のテレビなどに使われた。大田会計より5,809,365円の募金があった旨報告があった。

(5) 2007年10月8日（ライオンズデー）のCSFⅡ募金及び献血の報告

大内幹事より、10月8日のライオンズデーのCSFⅡ募金ならびに献血活動の意義と協力感謝。飯田ガバナーより資料集2には132クラブの活動状況が明記され、それ以外の日にご協力をいただいたクラブがあることの報告があり、感謝のことばを述べられた。太田会計より募金総額は、3,281,476円（資料集1-P81）である旨報告があった。

(6) 2007年12月9日（世界障害者デー）のCSFⅡ募金及び献血について

ガバナーより、10月8日と同様の活動にご協力をお願いしたい。今回は、花の種7,000袋を配付できるように用意した。リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンと相談して有効な形で配付したい旨説明があった。

(7) 地区名誉顧問会に関する事項 資料集1-P48

大内幹事より9月5日開催、議題は国際理事の推薦の件。来年は日本から1名

推薦。L 杉本忠夫、L 秦従道の 2 名が立候補し、投票人は、各複合 50 名と 330 複合地区では A 地区 17 名、B 地区 18 名、C 地区 10 名で、330-A 地区では現前元ガバナー、リジョン・チェアパーソン世話人、ゾーン・チェアパーソン世話人、委員長世話人、キャビネット幹事、会計を投票人として投票。9 月 14 日の開票の結果、L 杉本が当選した旨の報告がなされた。

(8) リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン全般に関する事項

久賀リジョン・チェアパーソンから、第 1 回 9 月 18 日、第 2 回 10 月 24 日、第 3 回 11 月 13 日に、10.8 ライオンズデーに対しての検討、ライオンズデーの成功と反省。12.9 世界障害者デーに向けて。当日 PR 用の花の種を 10000 袋配付の予定である旨の報告があった。

妹尾ゾーン・チェアパーソンから、11 月 15 日開催し、ガバナー方針に様々な思いがあるものの、ガバナーに協力し、11 月 8 日ライオンズデーの反省をふまえて 12 月 9 日の世界障害者デーの活動に向けて各クラブに啓蒙をしていくことおよび飯田ガバナーの今後の様々な提案にも、全面的協力を決議した旨の報告があった。

(9) 各委員会全般に関する事項

小林委員長から、11 月 12 日に委員会世話人が集まり、ガバナーよりの委員会に対する諮問に答えて活発に活動して行くことが説明された、また、7 月から 11 月 16 日までに 108 回の委員会が開催された旨の報告があった。

なお、飯田ガバナーより、キャビネット事務局を利用して活発な委員会の開催を期する旨の発言があった。

(10) 会計に関する事項

ア. 2007 年 7 月 1 日新キャビネット発足より現在までの会計状況

太田会計より 7 月 1 日から 10 月 31 日までの会計状況は、資料集 1-P83 により説明があった。

イ. ドルのレートについて—11 月のレートは 1 ドル 114 円である旨、太田会計から報告があった。

ウ. クラブからの地区会費、地区大会費の入金状況

太田会計から各クラブの地区会費入金状況につき、資料集資料集 1-P10 により説明。未納クラブについてはゾーン・チェアパーソンからの指導をお願いした。

エ. ウに関連する事項として、配偶者会員、家族会員の地区会費の件

ガバナーより、配偶者会員、家族会員について資料集 1-P62 の通りアマラスリア国際会長の方針がでていますが、地区費は本来年次大会の決議事項である。政策会則委員会に諮問し、会費その他の整合性を調べた上で、第 3 回キャビネット会議で決議をお願いしたい。

大内幹事より資料集1-P61 国際会費について、本年から国際会則第8条で家族会員の軽減措置がとられている。準地区では年次大会で決議されることになっており、国際協会に年次大会を経ずに家族会員の地区費を軽減ができるような根拠となるものがほしいという要望があり、それに応じてこの書面が出てきた。これにもとづき、P59のTeam20Kコーディネーター会議が開催され、P61「配偶者会員招聘のための行動指針」となっているが、配偶者に限定せず家族会員としたほうがよいのではということも含めてこれを議長連絡会議に提案している。その結果P21記載のように10月26日の議長連絡会議で「前向きで各複合地区で検討する」となっている。P62「3. 地区」記載の内容が、年次大会の決議を経ず解釈で行って良いのか。議長連絡会議の結果は10月末に届いた。このような経過をふまえ、政策会則委員会に「軽減措置がとれるか」、また、とった場合に「いつから実施するか」を諮問したいとの説明があった。

ちなみに現在の330-A地区の家族会員は10名である。

飯田ガバナーより、20KメンターであるL山浦にこういう方向性で良いか確認があった。

大内幹事より、P60 2④にあるように「地区会費は各地区の自主性で決定する」ことに10月22日のTEAM20Kコーディネーター会議で協議されていることが報告された。(3(2)のあとで)

オ. 各義援金、協賛金について。

新潟沖地震については、先ほど報告した通り。

YEクエスト協賛金については、資料集1-P82を参照。ガバナーより協賛金がブランクのクラブに対しての一層の指導配慮をお願いしたい旨要望があった。

(11)第46回東洋東南アジア・フォーラム（韓国・テグ）関係

ア. 330-A地区からの参加登録人数 地区参加者 230名 全体24,020名 日本3285名が参加。

P26の下記の7と8のフォーラムから国際協会への要望事項について大内幹事より説明。

7. 国際会長の選出を3年周期として、現在は米、米、その他の地域の順となっているが、米国より1名としてその他の地域から2名をだすように要望。

8. 国際会長の選出については、会員数の20%を占めるオセアル地域から5年ごとに1名を選出されることを要望。

以上の報告があった。

イ. 330-A地区ガバナーを囲む会について。163名が参加。

(12)国際会費納入遅滞について大内幹事より次のお願いがあった。

1 クラブ 1000 ドル、1 会員 20 ドルの国際会費の未納が 150 日で活動停止、さらに 90 日でチャーター取り消しが警告なしで行われる。半期毎 7 月 21 日と 1 月 21 日が納期。9 月末の 204 クラブ中 100 クラブ以上に未納があり、幹事団から未納クラブへ連絡をしたが、くれぐれも遅滞のないようにおねがしいたい。

(13)年賀状の廃止について。例年通り廃止としたい。

(14)その他。事務局員の交代について。その氏名等について各クラブに書面で通知を考えている。

2. 330 複合地区全般に関する事項

(1)第1回330複合地区ガバナー協議会全体会議

日 時 : 2007年8月16日(木) 14時00分～16時00分

場 所 : 横浜ロイヤルパークホテル横浜

資料1-P11を参照

(2)第2回330複合地区ガバナー協議会全体会議

日 時 : 2007年11月9日(金) 14時00分～16時00分

場 所 : 川越プリンスホテル

要録が出来次第報告する。

(3)第54回330複合地区年次大会

ホスト地区 : 330-B地区

開催月日 : 2008年5月11日(日)

場 所 : ロイヤルパークホテル横浜

3. 全日本レベルに関する事項(日本ライオンズ連絡事務所)

(1)複合地区ガバナー協議会議長連絡会議関係

先の説明の通り。

(2)複合地区委員長連絡会議関係

資料1-P56-58 Team 2 OKメンターにL山浦晟暉、コーディネーターに

L菅原雅雄が就任。

(3)2008年～2010年度国際理事候補者について。

先ほど説明。

(4)国際会長公式訪問

日 時 : 2007年12月22日(土)

場 所 : パレスホテル

先ほど説明

(5) クラブ紛争処理手順について

今年度の必携 P99～101 にわたり掲載。大筋はかわらないが、「調停者が解決した場合でも、さらに国際理事会で変えることがありますよ。」というようなことが、決められたので、読んでいただきたい。

(6) C S F II 募金および献金の進行状況について

L 山浦より、資料集 1 - P70 C S F II の最終年。飯田ガバナーがアンカーとして、成功裡に終了したいとの意向を持っている。10月8日の協力に感謝します。世界の3分の1が日本に課せられている。約51億円が課せられている。日本はで10月末現在72%を達成している。日本では1236クラブ、3分の1がモデルクラブ。330-Aでは40クラブがモデルクラブとなっている。昨日国立 LC がモデルクラブになった。405ドルをクリアしたクラブが60クラブ。チャリティゴルフ、ボウリング大会を開催し、3分の2のクラブは目標達成の見込みだが、残りの3分の1のクラブ啓発に皆様の力を借りたい。ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソンはゾーンコーディネーター、グループコーディネーターということで、ガバナーから委嘱状をいただいているので、クラブ会長にビデオを例会で放映して理解していただき協力していただきたい。周年行事を迎える早稲田 LC でも、多くの方から1,000ドル献金の申込をいただきアワードの要請もある。3年目という事で盛り上がりを感じる。ガバナーからクラブならびに個人に国際会長賞等の申請がなされると思う。C S F II ・ L C I F 特別委員会では、明治座観劇会を企画され、頑張っている。12月9日障害者デー、2月のチャリティコンサートと企画し、ガバナーとして達成しなければならない責任もある。地球上に目の障害のある方をなくそうという15年に1度の国境を越えたキャンペーンが成功するように、皆様のご協力をお願いしたい。大学 LC の関心が薄いように感じるので、更に一層のご協力をお願いしたい。

太田会計より、資料集 1 - P70-71 を参照により、C S F II 入金の状況が報告された。

4. ライオン誌日本語版事務所に関する事項

大内幹事より、ライオン誌が来年1月からB5版からA4版に変わる旨、報告があった。

5. 国際協会に関する事項

(1) 第91回国際大会

開催期間：2008年6月23日～6月27日

開催場所：バンコク（タイ）

(2) チーム20Kについて。

山浦メンターより、資料集 1 - P56 により説明があった。アマラスリア国際会長

の方針は、会員増強とCSFⅡの達成の2つの目標がある。会員増強は永遠のテーマであるが、2万人を増やそう。東南アジアでは30%は増やして欲しい。LC誕生から90年であるが、2017年に100年を迎えるときには消滅してしまうのではという右肩下がりの状態。家族会員を増やして、ステータスを落とさないうで会員を増やそう。後継者、奥様、親戚、家族を増やしていくことが、ステータスを落とさず会員を増やすことが出来る。シカゴの国際大会でエレクトセミナーで国際会長で日本に期待するところ大である。日本でも地区により会長になったら、奥様を会員にしている地区もある。入会金を0、国際会費、地区費複合費も基本的に2分1でも良い。クラブ費についてはクラブの自主性に任せる。今期に限り国際会長の特権において、地区会費も半分にといい書面がきた。会則委員会に検討していただくという話だが、すでにB地区では、昨年年次大会を通し、地区費複合費は半額、クラブ費は出席したときだけ食事代をいただく事になっている。日本の会員数を増強して、国際協会での発言力を高めることも必要である。女性の感性を活かした奉仕活動、クラブ活性化をすることも重要である。年次大会を待たずにやることは例のないことであるが、国際会費地区費複合費で17,000円位であるが8,500円位にし、クラブ費は出席したときだけ食事代を払うという形で例会には出来るだけ出て来て貰おう。若者、女性、家族会員を増やして、ライオンズクラブの今後の発展を図る。40代を20%に。女性会員は世界では19%だが日本では7%なので、女性会員を20%に近づけて。

次に菅原コーディネーターより、次の説明があった。

エレクトセミナーに国際会長が出席され、配偶者会員家族会員の提案があり、それに対して、エレクトから通達文をだして欲しいと要望し、9月はじめにドラムヘア法律部長が、翌年の年次大会で決議すれば前倒しでやることに了承を得、タイの国際理事から待ったがかかったが、9月の末に審議し、10月のテグの20Kフォーラムに間に合うように、3人の国際理事の名前で通達文が出され、それに国際会長の文書が添付された。フォーラムから帰り、20Kの会合で、地区により、0、半分、今期は伸ばすという地区があるが、約8,000円がかかるという。複合地区の全体会議では、複合地区会則委員長が複合地区会費2分の1でやれば良い。議長は構成員4名に付託した。B地区では、地区費2分の1で年次大会で決議している。C地区では、検討中。331複合地区では構成員に任せる。331Cでは地区費ゼロですすでに20名入会し、国際会長来日までに100人の配偶者をそろえる方針。334複合地区では、国際会費複合地区費準地区費クラブ会費すべてを含めて、配偶者については年3万円で行こうということで進められている。336複合地区では、複合地区費は全額、準地区費はゼロで検討中。20K達成のため、アジアで6,000人その内日本では、2,525人の増強。昨年4,242人が減。それにプラス2,525人の増強が必要になる。330-Aでは664人が退会。入会426人で238人が減。今期期首の5,261人の2.2%の116人増のためには、5,377人昨年は12%が減631人。4,630人になるだろう。747人の増が

必要。6月に会員が減る。最終的に会員がどうなるかを考えて、増強をお願いしたい。

(3) プロトコールの変更について

大内：9月27日から10月1日の国際理事会でプロトコールの変更があり、資料集1-P67に、国際理事会の公認プロトコール、P68は準地区向けにつくったものであり、参考までにつけた。

飯田：プロトコールについて国際理事会で混乱を来している。北京の国際理事会で変わりニューデリーで変わった。臨時キャビネット会議では、もう少ししっかりした資料を提供させていただければと思っている。

大内：P68の資料は、複合地区事務局員まで入っていて、日本にはなじまないのではということ、山浦元ガバナーからいただいた表がP84にあるので、ご参考にしていただければと思う。

10分間の休憩。

VIII. 議 事

1. 協議事項（ガバナー提出案件）

(1) 一般事項

ア. 330-A地区キャビネット関係事項

① 2006～2007年度330-A地区一般会計決算報告

② 2006～2007年度330-A地区特別会計決算報告

上記について大内幹事より第54回年次大会に上程したいとの説明があった。

飯田ガバナーより承認を求めたところ、圧倒的多数で賛成、承認がなされた。

③ 2007～2008年度330-A地区一般会計

a. 2007年7月1日から10月までの収支報告

大内幹事より先に報告した通りとの説明があった。

④ 次期地区ガバナーおよび副地区ガバナー選出に関する件

大内幹事より下記のとおり説明がなされた。

a. 次期地区ガバナー及び副地区ガバナーの立候補届出日

受付日時 2008年3月6日（木）13時00分から17時00分

締切 当日限り

受付 330-A地区キャビネット事務局内 選挙管理委員会

b. 地区ガバナーおよび副地区ガバナー立候補者の資格審査日

2008年3月10日（月）

c. 公示日 2008年3月17日（月）

d. 選挙運動期間 2008年 3月18日（火）～4月18日（金）

e. 次期地区ガバナー、次期副地区ガバナー選出日

4月19日（土）の年次大会当日

- f. 立会演説会 追って定める（2回）
- g. 次期地区ガバナー立候補届および副地区ガバナー立候補届についての書類はキャビネット事務局において用意致します。

大内：上記 a～g の要領で実施。d. 選挙運動期間の終了日については、4月18日に訂正。

飯田：副地区ガバナー選挙の運用面で、いささか変えさせていただきたいと考えている。選挙規程を選挙管理検討委員会で熟考している。制度の改廃を臨時キャビネット会議で公示させていただきたい。運用面の日程は、提出案件(追加)P7の通り、本選挙は年次大会の当日で、3名以上の予備選挙になった場合は、第2回の立ち会い演説会で予備選挙を行い、最終的な本選挙を年次大会の当日に行うという形で運用したい。お金をかけない選挙にしたいので、ご協力をおねがいしたい。

上記 a～g について圧倒的多数で賛成、承認された。

⑤第54回年次大会ガバナーズ・アワードおよび表彰規定

大内：ガバナーと政策会則委員長で検討中。ガバナーと政策会則委員長に一任をお願い。

飯田：野崎委員長と折衝中である。ガバナーと政策会則委員会に一任ということで、承認願いたい。公正妥当なアワードとしたいと考えている。

圧倒的多数で賛成、承認された。

⑥年次大会部会員協力要請

大内：提出案件(追加)P3の通り要請したい。

飯田：P3の部会構成で行いたい。

上記①、②の各事項について圧倒的多数で賛成、承認された。

イ. その他の事項

①会員の住所・職場等の届出について

飯田：ライオンズクラブに入会時、名前、住所、職業、家族構成を記載して入ったはず。ところがキャビネットのサバンナに情報が入っていない。キャビネットが入手した個人情報外部に出さないことをお約束させていただきました。次期の副地区でも同じように約束をお願いし、組織として会員の住所氏名がわかっていないのはおかしい。サバンナに氏名住所職業等のデータを必ず入れていただきたい。

圧倒的多数で賛成、承認された。

②ハンディキャップ・サポートコンサートについて

飯田：2月9日に開催。1月8日に明治座でCSFⅡの観劇会があるが、基本方針で公約した「サイトファーストによるサイトファーストのためのサイ

トファーストコンサート」。キャビネットアクティビティをする機関ではないがサイトファースト最終年度としてご容赦をいただき、収益金の2分の1をサイトファーストのために、2分の1は日本にいる視覚障害者のために協賛をしたい。山浦Lと相談し国際本部にLCIFに請求しようということで交通整理をしている。たとえば、新宿にあるヘレンケラー協会では視覚障害者が、自立の道をしていただくために、針灸の指導をしている。本来的な社会復帰の手伝いをするのが、ライオンズであると認識している。視覚障害者のための卓球台の贈呈などを通して、日本の視覚障害者のためにも、第54回年次大会アクティビティとしてこのコンサートを開催したい。みなさんのご賛同をいただき成功させたい。
圧倒的多数で賛成、承認された。

(2) 330-A地区第54回年次大会関係

ア. 大会行事日程

2008年4月19日(土) 代議員会、大会式典、晩餐会
場 所 : 東京プリンスホテル

イ. 大会事務局関係事項

- a. 大会組織
- b. 大会テーマ
- c. 大会ホストリジョン 7R
- d. 大会プログラム

飯田：a～dにつきガバナー一任をおねがいしたい。

圧倒的多数で賛成、承認された。

e. 大会式典登録料

- ・代議員登録料 12,000円
- ・一般登録料 4,000円

f. 晩餐会登録料 12,000円

大内：一般登録料をひとりでも多く参加していただきたいというガバナーの意向で4,000円にしたい。4,000円でも予算的には可能である。

飯田：森山期では、代議員10,000円一般会員10,000円。代議員を12,000円とし、一般会員を5,000円から訂正し4,000円としたい。年次大会は、キャビネットのためでもなく代議員のためでもなく、会員のためのもの、1年に1度すべての会員が集い事柄を決めていくメンバーの年次大会であると位置づけ一般会員の登録料を下げたい。上記e～fにつき圧倒的多数で賛成、承認された。

g. 大会予算

太田：提出案件(追加)P4をご覧ください。

飯田：P4の予算案でご承認をお願いします
圧倒的多数で賛成、承認された。

h. 大会参加人数

大内：最低 1,000 人と考えているが、更に多くの参加をお願いしたい。

i. その他（記念事業等）

飯田：出来るだけ多くの一般会員が参集できるよう皆様のご協力を。記念アクティビティについては、ガバナーに一任して欲しい。

圧倒的多数で賛成、承認された。

ウ. キャビネット関係事項

①代議員会に関する事項

a. 代議員選出の通知期限について

大内：1月1日現在で1月末までにご連絡をいただきたい。代議員数の基礎となるクラブの会員数は3月1日が基準となっている。1月1日の現在で出していただき、変動があれば修正のご通知をいただきたい。

b. 各委員会、分科会の設置について

c. 各委員会、分科会の大会議事運営構成表

リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、委員長、会計監査等の代議員会における委員会、分科会の担当

d. 各分科会別代議員数

e. 各委員会、各分科会別、委員長および副委員長の勉強会

f. その他

b～f について

飯田：今までの分科会の位置づけについて、森山ガバナー期におきましては、7つの分科会があったが、今期は6つの分科会としたい。おおむね決議がでる分科会は、政策会則と経理分科会の2つが、今まで決議がとられている。他の分科会では、シンポジウムになっている。シンポジウムという形ではなく、外部から講師を招いて心に残る分科会にしたい。予算案に1分科会あたり5万円の講師料を入れた。一連の運営、分科会の設営、代議員の数をガバナー一任でお願いしたい。

圧倒的多数で賛成、承認された。

②各種、規則の承認に関する事項

a. 大会議事規則

大内：資料集(追加)P5～P6を参照して欲しい。例年と変わるところはない。分科会の内容が違っている程度。

飯田：1分科会を減らしただけ、大会議事規則の承認を願いたい。

野崎：大会議事規則は年次大会の議事規則で、当日の代議員の賛否を得なければならない。キャビネット会議で決定することは出来ない。必携上そのようになっている。特に議事運営委員会が設けられ、委員長が当日の代議員に諮って承認を得なければならない、キャビネット会議で賛否をとるものではない。

い。

飯田：これにつき、執行部で政策会則の野崎委員長とも協議をし、改めて臨時キャビネット会議に上程するか否か等を検討したい。

この a の議案につき一時保留とし、その他については圧倒的多数で賛成、承認された。

b. 次期地区ガバナーおよび副地区ガバナー候補者選出関係

c. 代議員会における選挙に関する事項

d. 各クラブあて送付書類

i. 330-A地区第54回年次大会一括登録表、大会案内書類送付

ii. 330-A地区第54回年次大会参加についての説明と依頼

iii. 各クラブ「物故会員」連絡のお願い

iv. 330-A地区第54回年次大会「各クラブ代議員氏名」登録のお願い

v. 330-A地区第54回年次大会「代議員会提出議案および2008～2009年地区アクティビティ・スローガン募集のお願い」

e. 「i～v」までの各書類の提出期限

f. 330-A地区第54回年次大会「ガバナーズ・アワード」申請書提出

g. 地区ガバナーおよび各クラブよりの提出議案の整理

h. 提出議案の締切日の検討

・ガバナー提出議案

・各クラブよりの提出議案

i. 330-A地区第54回年次大会、代議員会議案と、330複合地区第54回年次大会代議員会への提出議案の整理

j. 第54回年次大会代議員用「議案集」の作成

(注) 提出議案のない分科会はシンポジウムとする。ただし、決議事項としては認められない。

大内幹事から運営面はキャビネットに一任して欲しい。選挙規程を変える必要があるかないか、選挙制度検討委員会と詰めている。代議員会における選挙に関する事項、各クラブ選挙に関する事項は例年変わらない。b から j までをガバナー一任でお願いしたいとの説明があった。

飯田ガバナーから b～j の内、アワードは政策会則委員長とガバナーに任せさせていただきますが、その余はガバナー一任とさせていただきたいと賛否を問うた。

上記につき、圧倒的多数で賛成、承認された。

(3) 330複合地区関係

特になし。

(4) 全日本レベル関係

大内：資料に全国レベルの委員会関係、議長連絡会議の議事録等もついている、読んで欲しい。

(5) ライオン誌日本語版事務所関係

なし

(6) 国際協会関係

なし

2. その他

飯田：その前に、資料集の追加訂正。P5 4月3日 3R1Z 東京芝 LC の50周年のチャーターナイト 18時からパレスホテルで開催。東京練馬 LC の結成45周年は、3月29日から27日に訂正。場所は、椿山荘にて開催。

1. 各位よりの提出案件

2. 各委員会委員長協議および報告事項

A) 政策会則長期計画委員会 委員長 野崎 武 別紙1 提出案件(追加) P20

案件1 リジョン・チェアパーソン並びにゾーン・チェアパーソンの任命について。p3

案件2 中間法人330-A地区支援会に対する「愛の泉緊急災害援助資金」からの貸付金処理について p5

案件3 330-A地区、愛の泉緊急災害援助資金規則の改定について p7

案件4 330-A地区 第54回年次大会ガバナーズ・アワード及び表彰規程について p8

野崎：配付資料の変更。11月5日前後に議案集が送られた。変更があったので、キャビネットに差し替え依頼のメールを送ったが、事務員の異動により、手続き上の問題があり、行き違いがあったためにこういう問題があった。先に送られた議案集の審議決議事項の内容の文言が変わった。ゾーン・チェアパーソンに諮問委員会で明確に伝えていただくために、ご理解をたまわりたい。

審議決議事項「リジョン・チェアパーソン並びにゾーン・チェアパーソンの任命について」(案件1)の2行目「かつゾーン内クラブ転出転入において輪番制が著しく変動し、」を削除し、「クラブによっては順番制をひいているが、ライオンズ必携上これを認めることは出来ない。」に変わっている。これを訂正していただきたい。3ページの記ですが「「ライオンズ必携」の会則に基づきリジョン・チェアパーソン及びゾーン・チェアパーソンの任命にあたり、地区ガバナーへの推薦は、地区ガバナーが選任の際の参考と位置付けるが、その任命はあくまでも地区ガバナーの権限によりこれを委嘱する」としたい。

リジョン・ゾーンの順番制を削除していることを理解していただきたい。第1回キャビネット会議で飯田ガバナーより基本方針をいただいた。基本方針に基づいて政策・会則・長期計画委員会は、会議を重ねてきた。ガバナーの指示通りに行うのが委員会である。他の委員会も同様に委員会が独自に先行してやっているのではないことを、クラブを預かるゾーン・チェアパーソンも十二分に認識をたまわりたい。第1回のキャビネット会議で案件として出した資料があるが、必携には国際会則が10条、複合会則が30条、クラブ会則が10条、国際会則には付則が9条、複合会則には付則はない。クラブ会則には10条の付則がある。これに基づいて国際本部は国際会議をやっている。クラブもクラブ会則に基づいて最高権威者は代表者はクラブ会長であり、時のクラブ会長が人事権を持っている。幹事、委員長をだれにするかは、会長が任命権を持っているごとくキャビネットの構成員はクラブにたとえると我々は理事と同等である。理事である以上、ガバナーの専権事項という言葉がございませんが、任命権はすべてガバナーにあるということを理解していただきたい。いろいろと答申されているが、基本政策で第1回キャビネット会議に出しましたことは、国際会則の22ページに書いてあるゾーン、リジョンについては、ゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソンについては、ゾーン総務ならびにゾーン幹事、リジョン総務ならびにリジョン幹事は、おいてはいけないという事が文書でちゃんと位置づけされている。飯田ガバナーが必携の47版に基づいて、政策・会則・長期計画委員会はこれに基づいて会議を重ね、進行してくださいと謳われている。委員長が私的に決めている訳ではないことを、ゾーン・チェアパーソンは、各クラブに対して伝達を正確にお伝え願いたい。

案件にうつらせていただきますが、飯田ガバナーは諮問事項が多く、9項目を一気に案件として出すわけにはいかないのです、今日は4件出した。

案件1 リジョン・チェアパーソン並びにゾーン・チェアパーソンの任命について。(ライオンズ必携の会則による任命方法の確定であります。) p3

一部省略

審議決議事項に書いてある通り。「地区ガバナーが選任の際の参考と位置づけるが、」ローテーションでやれとは言っていない。「その任命はあくまでも地区ガバナーの権限によりこれを委嘱する」。今度はどこの番だよと言うことは、ZCには、そんな権限はない。必携では、キャビネット構成員、副委員長、委員、についても、ガバナーに任命権があることを謳っている。

大内：結論は3ページの「記」以下の内容ですね。確認ですが、今期の問題ではなく、次期以降の問題であるので、年次大会で審議すべき事項ではないか。

野崎：リジョン、ゾーンの編成替えも、前期ガバナーが編成替えをしたが、今期より新しいリジョン、ゾーン体制で行っている。

風間：ガバナーが任命しても勝手にキャビネットにすることは出来ない。クラブの理事会例会の承認が必要、それぞれのリジョンの長い歴史のなかで知恵としてやってきた順番制が過度に行き過ぎると現実を見極めた上でどうするか、クラブ側からするとガバナーから任命を受けたからと言って、個人的に任命を受けることはできない。リジョン、ゾーンがどう連携していくかのどうという人材を輩出していくかの知恵であったが、行き過ぎた面もあったことをわきまえて。

飯田：原理原則では、キャビネットに指名権があり、クラブに受諾権がある。対立することも

あり、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンについては、必携上では、ガバナーの専権事項となっているが、ローカル等の状況を参考として、どう位置づけるかということをもとめていただいた。原理原則の中においては、みなさんのご賛同をいただけるのではないかと。受諾権はクラブの自主性にあり、それを受けるか受けないかはクラブの意志。そのことも案件1の中に包括的にご理解をいただいて、ご賛同をいただきたい。

圧倒的多数で賛成、承認された。

案件2 中間法人330-A地区支援会に対する「愛の泉緊急災害援助資金」からの貸付金処理について p5

野崎：どれだけの預託金がクラブ、メンバーからでたのかの実態を知らないようだ。山浦期に5,800名強のメンバー中853名から45,542,222円が預託金。200クラブ中181クラブから37,060,000円がクラブからの預託金。そのお金では購入できなかった。キャビネットのための事務所であるので、キャビネットが購入すべきであるが、法人格がないので、不動産の登記上、一番簡単にできる法人として中間法人を作った。足りないので、キャビネットの「愛の泉基金」から1,500万円を借り、合計9,760万円。1,500万円はもう家賃が40万円なので2年で1,440万円の経費の削減がでているので、1500万円がどういう貸借関係になっているか調べたところ、「金銭消費者貸借」になっている。1,500万円の返済が一番最後になる。1,500万円を預託金にしたらどうか。

飯田：期間損益というか、期間の中で決定する事柄か、期間を超越した事柄かという判断では、私は第3回のキャビネット会議までにキャビネットの構成員が衆知ご理解をたまわり、第3回のキャビネット会議で上程をして、年次大会の決議事項にしたいと思う。政策会則委員会として、構成員にわかるような内容で文書化して配付していただきたい。

この案件を、第3回キャビネット会議で決議して、年次大会に提出することについて如何でしょうか。

圧倒的多数で賛成、承認された。

案件3 330-A地区、愛の泉緊急災害援助資金規則の改定について p7

「愛の泉」を削除し、「緊急災害援助資金」と改正する。

緊急災害時には、キャビネット会議を経ずとも、ガバナーの決裁で「緊急災害援助資金」から200万円までを支出できる。

飯田：この件も案件2と同様、継続案件として構成員に衆知を図り、第3回キャビネット会議で決議し、年次大会に提出する。

菅原：「愛の泉」の名前は1990年に名波ガバナーの時に、小川第1副会長がなくなり、全国から積み立てたお金をキャビネットに配分した。それを、「愛の泉」基金として、1992年に名波ガバナーが作られた。1996年97年に昔からの緊急積立金と愛の泉基金の一本化した。名前に名波ガバナーの功績をたたえるために、「愛の泉基金」という名前を残した。

飯田：これも第3回キャビネット会議で決議して、年次大会に提出することとして継続審議とす

ることについて如何でしょうか。

圧倒的多数で賛成、承認された。

野崎：菅原元ガバナーから出された、小川せいじ氏の件については、私も十分認識している。資料を分析し勉強している。

飯田：案件4をお願いします。

案件4 330-A地区 第54回年次大会ガバナーズアワード及び表彰規程について p8
毎年アワード審査会を東京プリンスホテルを会場に、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、各委員長、副委員長、委員を集めて、第1次審査会をやり、第2次、第3次の審査会をやって、リジョン・チェアパーソンで第4次審査会をやって、最後にキャビネットで。5回位やっているの、簡素化するために、担当委員会で決定するというにしたい。最終的にはガバナーの決裁で最終決定。キャビネット事務所で経費をかけずに決定できる。

飯田：先ほど、政策会則とガバナー一任ということで承認を受けたので、そういう形で議事録を作成させていただく。

B) 会員増強委員会 委員長 曾根原良仁 別紙2

曾根原：会員増強委員会もガバナーの基本方針にもとづいて会員増強計画を練り、実施にうつっている段階である。

案件1 2008年1月～2月を地区会員増強月間と定めることの審議をお願いします

案件2 2008年3月11日 2007年～2008年度330複合地区ガバナー協議会主催「前期新入会員歓迎会」実施にご協力をお願いします。

曾根原：案件1について。飯田ガバナーの基本方針である会員増強のため、1月2月を地区会員増強月間とする。各クラブのため会員増強マニュアルを印刷中。各クラブ3部配付予定。これらを参考にして、1月2月会員増強月間に定めていただき、会員委員会、会員増強委員会等を設置していただき、女性会員がいるクラブでは、副委員長に女性会員も据えていただき、実施していただきたい。

この案が通れば、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンの特段のご努力をお願いしたい。

案件2について資料にしたがい説明。

飯田：案件1について

圧倒的多数で賛成、承認された。

飯田：案件2について、複合の決議にしたがうということによろしいでしょうか。

(テープ反転のために空白)

上記方針について圧倒的多数で賛成、承認された。

C) IT委員会 委員長 藤村貞夫 別紙3

1. クラブ及び会員情報の管理

藤村：月例報告のシステムであるサバンナにクラブの会員情報を入力していただく事を、クラブの義務としていただきたい。

2. クラブへの伝達の徹底

諮問委員会でサバンナへの入力の義務と、今期のアクティビティブックを作成するため、アクティビティの写真の投稿を義務として伝達していただきたい。

飯田：サバンナというシステムを通して、皆さんの情報がわからないのは不自然であるので、1については、先ほどの通り、同様の委員長承認をとったということによろしいでしょうか。第2番目の案件については、アクティビティの原稿依頼については、皆様のご協力をお願いします。基本方針の通り、この1年をかけてアクティビティブックの製作にかかっている。

よろしいでしょうか。

圧倒的多数で賛成、承認された。

D) 第6R2Z ZCP 鈴木智子 別紙4

1. CSFⅡの件

2. ホームページの件

飯田：CSFⅡは、努力目標であり、天井なしの上限になるので、ご理解をたまわりたい。HPの遅れについては、できるだけ努力をさせていただきたい。

鈴木：山浦元ガバナーの説明、藤村IT委員長の説明を諮問委員会で説明させていただきます。

E) 指導力育成委員会 委員長 吉澤隆志 別紙5

報告事項

1. 定例委員会開催に関する報告

2. 審議結果の報告

①刊行物の作成に関する事項

②セミナーの開催に関する事項

吉澤：野崎委員長がわれわれが理事と同じというのは趣旨であって、理事は選挙により、われわれはガバナーの任命によるもの。任命であるからガバナーの方針を忠実に履行していかなければならないということをお間違いのないように。あとはご覧になっていただければ結構です。

飯田：指導力育成委員会では、メンバーズマニュアルの作成のための入札に入りました。ご協力をお願いします。

F) LCIF・CSFⅡ特別委員会 委員長 姉川啓一 別紙6 差し替えP22

案件1. CSFⅡチャリティ観劇会（明治座公演）について

案件2. 視力障害者の障害者による障害者のためのコンサート開催について。

姉川：案件1は、本案は国際プログラムであるキャンペーンサイトファーストⅡを達成するために企画したものである。すでに、各クラブならびにキャビネット役員にご案内しているが、全席貸し切りのため早めのご案内をした次第である。本会議に審議決議案件として上程した。

案件2は、今期ガバナー方針として第1回キャビネット会議で発表されているが、日時が決まったので、当委員会ならびに社会福祉委員会が、330-A地区主催の冠で開催することを提案いたします。

飯田：この件については、先にご承認をいただいている。協力要請をお願いしている。ぜひとも三役は明治座に御出席されるよう要請をお願いしたい。2月9日にもついても、出演者が視覚障害者で、観客も視覚障害者を500名ほどご招待したい。詳細については、委員会からご連絡申し上げますのでご協力をお願いします。

G) IT委員会 委員長 藤村貞夫 別紙7

1. メール活用の推進
2. キャビネットホームページの充実
3. 月例報告の提出徹底
4. クラブホームページ開設の推進
5. クラブアクティビティ写真投稿要領

藤村：報告事項なので、読んでいただければ結構です。

H) 社会福祉 委員長 木島庄一 別紙8

1. 主要駅多目的・だれでもトイレマップ、震災時初期手引き4カ国語作成の件
2. 障害者雇用手引き書、掲載の件

木島：トイレマップの作成費用は、最初は作るが、それぞれの地区でやる場合は各ゾーン・チェアパーソンにお願いして最低でも2万円や3万円の負担をお願いしたい。もっとあるのですが、後にしましょう。

I) エクステンション・リテンション委員長 小島清隆 別紙9

案件1 審議決定事項

小島：報告だが、昨日東京中央南LCのチャーターナイトが行われた。多くのご参集を報告とお礼申し上げます。各リジョンで1つのクラブを結成を目標にご努力をお願いしたいという文書を配布したいが、如何でしょうか。

飯田：エクステンションについては国際方針で、際限のないことですので、その促進については、お願いしたいと思います。周年行事を迎えるクラブは、周年行事の時に新しいクラブのスポンサーをするというのは、最大のアクティビティであると認識していただけるとありがたい。

J) 財務・会計処理委員会 委員長 坂下賢三 別紙10

山浦期の会計処理

1. 予算の補正なしの大幅な支出増
2. 期後における大きな支出
3. 大きな事務局家賃の支出（二重払い等）

坂下：別紙10の通り説明。

飯田：前期からの申し送りに対して、公正妥当であったとすることでご承認をお願いします。

拍手により承認。

飯田：この案件については、事後処理委員会に付託して、第3回キャビネット会議にひきつぎ、年次大会の決議で承認を得る。

K) 環境保全委員会 委員長 風間 昭 別紙11

報告事項

風間：11月14日の環境ステップアップセミナーは105名のエントリー、実質98名の参加で行われました。ありがとうございました。

L) 薬物乱用防止委員会 委員長 黒田幹雄 別紙12

会長幹事担当委員長セミナー報告

黒田：読んでいただければ結構です。

M) 献血・エイズ委員会 委員長 石田 健 別紙13

報告事項

石田：10月8日は、雨のなかありがとうございます。12月9日はご協力をお願いします。

N) 献眼献腎骨髄移植推進委員会 委員長 水上良文 別紙14のとおりであります。

水上：ここにあるとおり227名という立派な支援を得、ありがとうございました。

O) 大会参加委員会 委員長 齊藤嘉全 別紙15

報告事項 第46回東洋東南アジアフォーラム参加の件

バンコク国際大会概要および日程予定

齊藤：東洋東南アジアフォーラムにつき、この一表を見ていただきますと、参加していただいたクラブが55クラブという本当に少ない参加率。フォーラム参加が223名(4.1%)、ガバナーを囲む会が2.1%というのも低い。大会参加委員会としても、今後どのように皆さんにご案内しなければならぬかを反省している。来年の6月23日～27日に国際大会があるが、諮問委員会でリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンの皆様、国際大会に参加を呼びかけていただきたい。私たちもいろいろなアプローチをして行きたい。

P) YE委員会 委員長 島田益吉 別紙16

報告事項

1. 定例委員会の開催
2. 複合地区ガバナー協議会 Y E 委員会
3. 開催行事
 - ①2006—2007 年度 Y E 派遣生
 - ②各クラブ Y E 委員長会
4. 活動状況
 - ①冊子の配付
 - ②来日生の状況

島田：冬の来日制については、6名見えます。ホストクラブが決まりましたことをご報告します。8月にはまた来日生が来ます。ホストクラブの方よろしく申し上げます。1962年に国際理事会で決まった45年の委員会です。皆さんよろしくご協力申し上げます。

Q) クエスト・青少年育成レオ委員会 委員長 橘 薫 別紙17

1. 第1回ライオンズクエスト・セミナーの開催
2. 上期のライオンズクエスト・セミナー開催予定

橘：クエストまだ知名度が低いので、今年を元年ととらえ、毎月キャビネットのAB会議室でセミナーを開催。出来るだけ皆様の御出席を願いたい。1月に上程するが、四大交付金の申請する。YEとクエストの協賛金がすでに、資料集-1のP82に残高が載っている。3,116,000円ほとんどYEの分でクエストはこれからです。出来るだけのご支援をお願いしたい。

R) 女性参加家族会員増強委員会 委員長 三ヶ嶋将介 別紙18

三ヶ嶋：お手元の資料をもってご報告に変えさせていただきます。

S) 中間法人連携委員会 委員長 池田和司 別紙19

報告事項（中間報告）

1. 300万円を「出資金」という記載の適否
2. 家賃40万円が適正金額か

飯田：今日のご欠席なので省かせていただきます。

カード委員会について飯田ガバナーより普及した、還元金の処理について調査後、キャビネット会議に図りたい。

T) 事後処理特別委員会 委員長 脇村孝友 別紙20

03-04期アフガニスタン教育支援と日比谷公園植樹

05-06期YE委員会（報告書）と環境保全委員会（報告書）

06-07期YE委員会（報告書）

00-01期三宅島支援

脇村：報告事項なので、書類をお読み下さい。

U) 緊急対策委員会 委員長 梶原正和 別紙2 1

東京消防庁認定上級救命技能講習会

梶原：先にガバナーから報告のあったように、新潟中越沖地震へのご協力に感謝します。

東京消防庁認定上級救命技能講習会については、3月25日に予定しておりますので、よろしくご協力をお願いします。

V) 選挙制度検討委員会 委員長 飯田金広

飯田ガバナーから、今検討しております、幹事団と一緒にやらさせていただきますので、飯田委員長よろしいでしょうか。それでよいとの回答あり。

W) ライオンズカード推進委員会 委員長 芦田公

芦田委員長と飯田ガバナーから報告書記載の外、下記のとおり説明があった。

カード委員会についてご報告をさせていただきます。今期、カードの促進をしております、山浦期にカード委員会がかなり普及したが、そのときのキャビネット会議において、カード会社からの奨励金については、半分は各クラブに戻す。半分は中間法人のための支出にするという決議がなされていたそうです。ところが、中村期、森山期に実行されていない。その期間の首尾一貫とした整合性を議事録を調べさせていただいているカード委員会からは、上程する案件がありますが、過去の決議事項を考慮しながら再度臨時キャビネット会議に出させていただきたい。

芦田：キャビネット会議提出案件のP24に要望事項については、提出案件（追加P24）に記載してあります。

委員会としてはA地区の全メンバーに入って貰うのが最大の目的で、各ゾーンの諮問委員会で全会員の加入をお伝え願いたい。全会員の加入により、大きな目的、メリットがございますのでよろしくおねがいたします。

飯田：先ほど、野崎委員長より、年次大会の議事規則は年次大会で決めるという意見がありましたが、それについて説明をさせていただきます。

大内：さきほど、政策会則委員長から、大会議事規則は年次大会できめるというお話がありました。実質上も会則の上でも、誤解があるのではないかと思いい説明をさせていただきます。

年次大会議事規則には、たとえば「議案は2週間前に提出」とか、事前に決めておかなければならない事項が多い。必携の144ページ「地区大会の議事の運営はキャビネットによってあらかじめ決定された地区大会議事規則によって行われる。」と明記されているので、今日決議されても良い。年次大会当日では間に合わない。

野崎：私の言っているのは、年次大会議事規則は代議員総会に、この内容で行いますよ。という承認を得なければならないということです。

飯田：その件は保留として、1月の臨時キャビネット会議にて討議したい。

キャビネット事務局員の紹介。

太田：横川さん、佐々木さん、原さん。もう一人経理担当の小堀さん。

飯田：本日は予定より20分を超過し、時間が押してしまいましたが、民主的な方法で皆さんの意見が反映したライオンズクラブ、キャビネットにさせていただきたいと思います。ご協力のほどお願い申し上げます。

3. その他

キャビネット事務局冬期休暇

2007年12月28日（金）～2008年1月4日（金）

緊急連絡先	大内幹事	携帯電話：080-3429-7720
	太田会計	携帯電話：090-4816-9091

IX. 今後のキャビネット会議予定

1. 臨時キャビネット会議

日程	2008年1月22日（火）
受付	13時50分～14時25分
時間	14時30分～17時00分
場所	東京プリンスホテル

330-A地区賀詞交歓会

日程	2008年1月22日（火）
時間	17時30分～19時00分
場所	東京プリンスホテル

2. 330-A地区第3回キャビネット会議（キャビネット構成員のみ）

日程	2008年3月17日（月）
時間	14時00分～17時00分
場所	八王子京王プラザホテル

3. 330-A地区第4回キャビネット会議

日程	2008年6月 日（ ）
時間	15時00分～17時00分
場所	東京プリンスホテル
懇親会	17時30分～19時00分

X. 閉 会 太田会計

以上

以上をもって第2回キャビネット会議は閉会された。

会議の結果を明らかにするために、この議事録を作成し、議長および議事録署名人は署名捺印をする。

2007年 12年 26日

議長・ガバナー

L 飯及田善子 

第 / R リジョン・チェアパーソン

L 伊賀別夫 

第 6 R 第 2 Z ゾーン・チェアパーソン

L 鈴木智子 